

平成 29 年 11 月 5 日

平成 29 年度 海洋・港湾構造物維持管理士資格認定試験

記述式問題 問題用紙

(試験時間 2 時間 3 0 分)

注意事項

1. 監督員の「始め」の合図があるまで、試験問題の内容を見てはいけません。
2. 問題は、大問として、問題Ⅰ、問題Ⅱの 2 問があります。これらのすべての大問に解答して下さい。2 問の大問のうち、1 問でもまったく解答がない大問があると、全ての問題が採点の対象となりませんので注意して下さい。
3. 解答は、問題ごとに所定の解答欄に、横書きで記入して下さい。
4. 問題用紙および解答用紙には、受験番号と氏名の記入欄がありますので、それぞれ正しく記入して下さい。
5. 「始め」の合図があったら、直ちに問題用紙と解答用紙のページ数の不足や印刷の不鮮明なところがないことを確かめて下さい。もしあれば、手を挙げて申し出て下さい。
6. 解答には文字数制限がありますので、注意して下さい。不必要な空白は文字数として認めません。
7. 問題用紙の余白等は、適宜利用して差し支えありません。
8. 試験問題の内容についての質問は、一切受け付けません。
9. 解答時間は、「始め」の合図があったから 2 時間 30 分です。試験開始後 60 分までと終了 10 分前以降は途中退席できません。
10. 途中退席を希望する人は、監督員に受験票を提示の上、解答用紙を提出した後、静かに退席して下さい。
11. 「終わり」の合図があったら、直ちに解答の記入をやめ、解答用紙を机の上に裏返しにして置き、監督員の指示に従って下さい。
12. 問題用紙を持ち帰ることはできますが、解答用紙を持ち帰ることはできません。
13. 不正行為があった場合には、全ての解答が無効となります。
14. その他、監督員の指示に従って下さい。

受験番号				
氏 名				

問題 I

次の設問（1）及び（2）について合計 800 字以上 1,000 字以内で解答せよ。

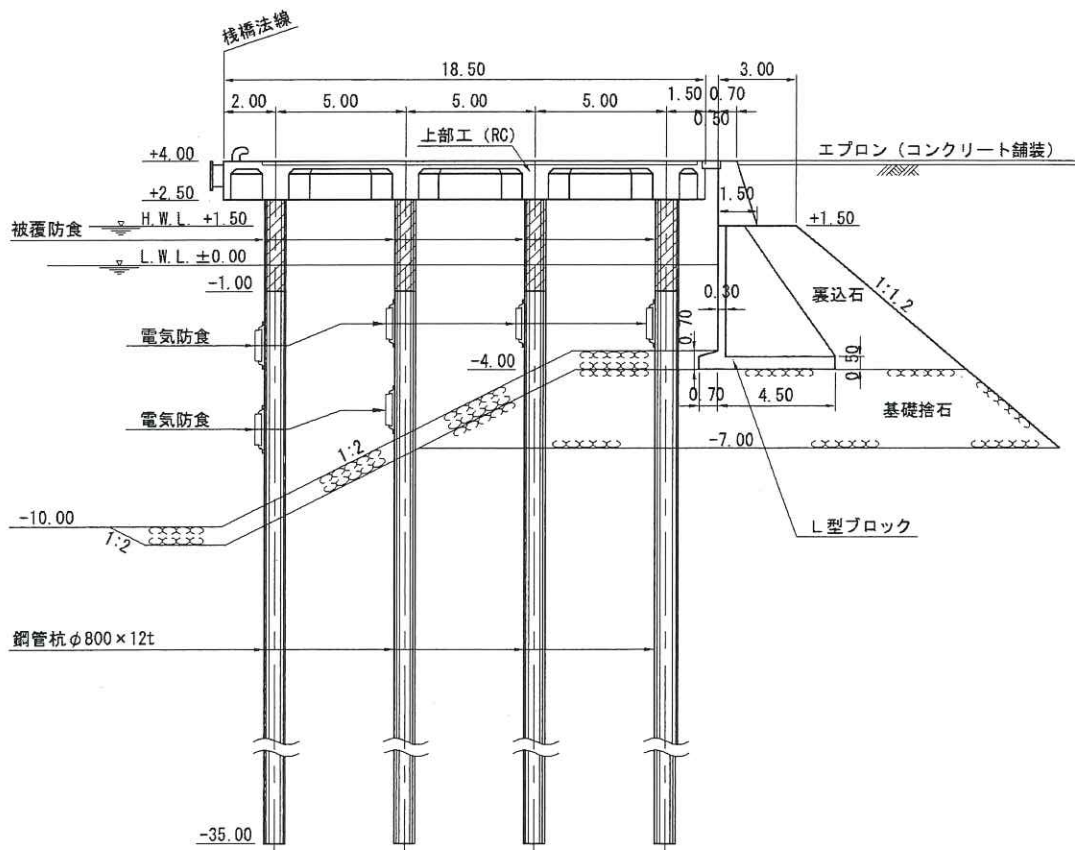
- （1）海洋・港湾構造物の計画、調査、設計、施工、維持管理等に関する業務経験をひとつ挙げ、当該業務における維持管理に関する課題、または当該業務を通じてあなたが考える維持管理に関する課題を述べよ。
- （2）（1）で述べた課題を解決していくための方策について、最近の社会や技術の動向も踏まえてあなたの考えを具体的に述べよ。

問題Ⅱ

次の設問（１）及び（２）について合計 1,200 字以上 1,500 字以内で解答せよ。

図に示す直杭式横棧橋を新たに建設することになった。なお、設計供用期間は 50 年である。

- （１）この棧橋の下部工、上部工及び土留部のそれぞれについて、施設の性能低下につながる変状をとりあげて、それぞれの変状に対する点検診断と変状が生じた場合の対策工について述べよ。ただし、自然災害による突発的な変状は対象外とする。
- （２）さらに、この棧橋の下部工または上部工のいずれかについて、維持管理の合理化・省力化の観点から、設計段階で検討すべきとあなたが考える事項について述べよ。なお、基本設計断面の大きな変更を伴うものは対象外とする。



直杭式横棧橋の断面